



研究テーマ

1 猫の重症熱性血小板減少症候群の病理発生機序の解明



福家 直幸

ふけ なおゆき
農学部
獣医学部門獣医学領域
助教

キーワード

獣医病理、病気、感染症、重症熱性血小板減少症候群、伴侶動物、動物園動物、産業動物、豚熱、アフリカ豚熱、鼻咽頭関連リンパ組織

特許情報・
共同研究・
応用分野など

研究概要

動物は、人と同じく様々な疾患を患います。いくつかの病気では、病気のメカニズムが解明されて、治療法も確立されています。その一方で、重症熱性血小板減少症候群のように、多くの感染症等では、病気のメカニズムが未だによくわかっていません。私は顕微鏡を用いて様々な疾患の解析を行っています。動物の病気になる原因がわかれば、動物の治療や予防に役立ちます。さらに、人の医療にも応用が可能となることもあります。私の研究が将来の動物や人の病気の治療等につながれることを期待し、日々研究に取り組んでいます。

1 猫の重症熱性血小板減少症候群の病理発生機序の解明

近年では重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の解析に力を入れています。この病気は人と動物両方が感染するウイルス性の病気で、致死率も高いです。猫は、半数以上が死亡するとされていますが、体内でどういった変化がおこり死亡するのかがまだ、よくわかっていません。動物が死亡するメカニズムが解明できれば、ワクチンの開発や治療法の開発につながると期待できます。そして、それは人の医療にも応用も見込まれます。最近ではSFTSの原因となるウイルスを運ぶダニにも着目して標本作成し観察しています。

ホームページ

宮崎大学 獣医病理学研究室
<https://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/vetpathol/index.html>

技術相談に応じられる関連分野

- ・ 食肉衛生検査所や家畜保健衛生所の診断の助言
- ・ SFTSの病理診断
- ・ ウイルス性疾患（猫パピローマ、猫ヘパドナ）の病理診断

メッセージ

獣医病理に関連する内容であれば、御相談下さい。